

令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査 滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

1. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の総発生件数 〈表(1)〉

公立小・中学校および県立高等学校における暴力行為の総発生件数 936 件
【平成 30 年度 (830 件) より 106 件増加】

(2) 学校種別の発生件数 〈表(2)〉

①公立小学校

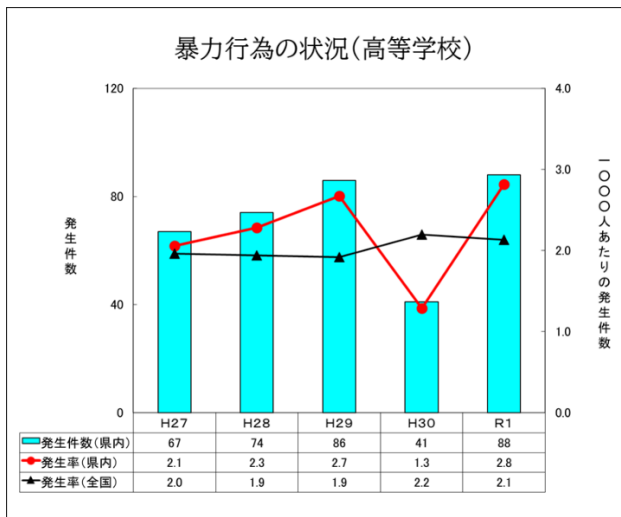
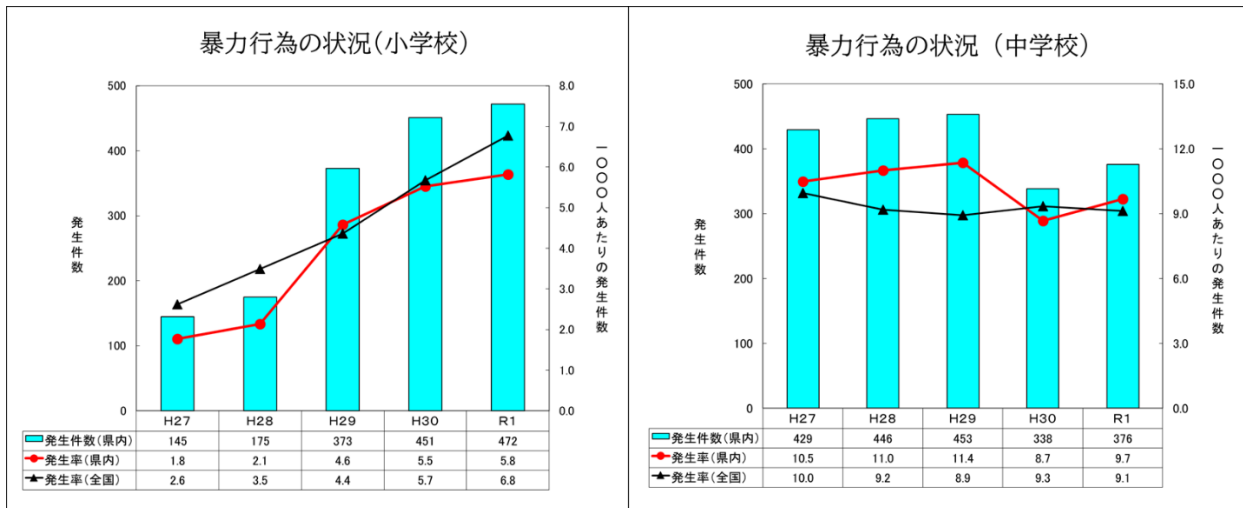
・総発生件数は 472 件 【平成 30 年度 (451 件) より 21 件増加】

②公立中学校

・総発生件数は 376 件 【平成 30 年度 (338 件) より 38 件増加】

③県立高等学校

・総発生件数は 88 件 【平成 30 年度 (41 件) より 47 件増加】



(3) 校種別・形態別の発生件数〈表(3)〉

(暴力行為の形態は「対教師暴力」「生徒間暴力」「対人暴力」「器物損壊」の四形態)

① 公立小学校

- ・「対教師暴力」 144件【平成30年度(131件)より13件増加】
- ・「生徒間暴力」 262件【平成30年度(239件)より23件増加】
- ・「対人暴力」 0件【平成30年度(3件)より3件減少】
- ・「器物損壊」 66件【平成30年度(78件)より12件減少】

② 公立中学校

- ・「対教師暴力」 84件【平成30年度(108件)より24件減少】
- ・「生徒間暴力」 195件【平成30年度(166件)より29件増加】
- ・「対人暴力」 9件【平成30年度(10件)より1件減少】
- ・「器物損壊」 88件【平成30年度(54件)より34件増加】

③ 県立高等学校

- ・「対教師暴力」 8件【平成30年度(5件)より3件増加】
- ・「生徒間暴力」 67件【平成30年度(23件)より44件増加】
- ・「対人暴力」 4件【平成30年度(3件)より1件増加】
- ・「器物損壊」 9件【平成30年度(10件)より1件減少】

※ 県内における具体的事例

○対教師暴力

- ・暴言や暴力行為を注意した担任に対して、暴力行為に及んだ。〈小学校〉
- ・授業妨害やエスケープの指導に対して腹を立て、教師や支援員に暴力をふるった。〈中学校〉

○生徒間暴力

- ・SNS上で悪口を書かれていると言いがかりをつけて暴力をふるった。〈小学校〉
- ・相手の言動に立腹し、衝動的に暴力をふるった。〈中学校〉
- ・仲の良い友人間で、コミュニケーションのつもりで上腕部を複数回叩いたところ、アザができた。〈高等学校〉

○対人暴力

- ・下校時、偶然出会った小学生に対して暴言を吐き、腹をたてて殴った。〈中学校〉

○器物損壊

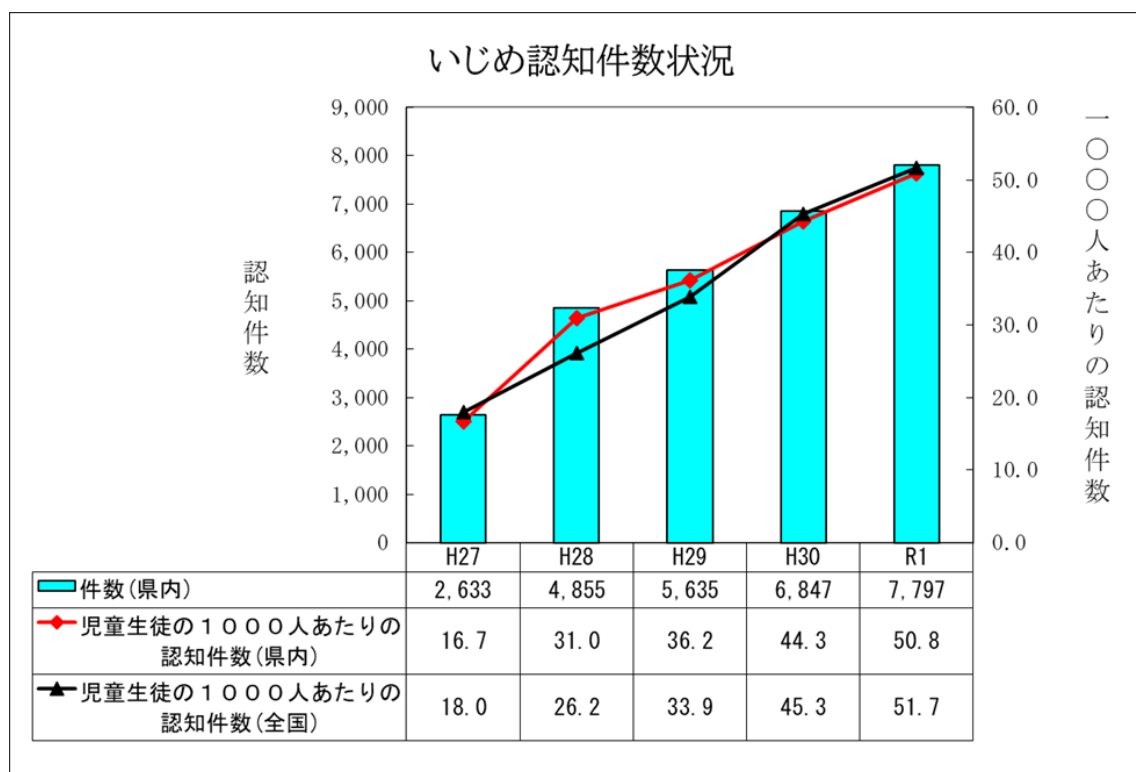
- ・教師からの指導されたことや自分の思い通りにならず、ドアを蹴り破ったり、物を投げて壊したりした。〈中学校〉

2. 公立小学校、公立中学校、県立高等学校および県立特別支援学校におけるいじめの状況

(1) 県内公立学校いじめの認知件数（滋賀県）〈表(4)〉

公立小・中学校および県立学校のおいじめの総認知件数 7,797 件

【平成 30 年度（6,847 件）より 950 件増加】



(2) 校種別いじめの認知件数・いじめを認知した学校数〈表(5)〉

いじめの認知件数

- ① 公立小学校
 - ・ 認知件数 5,561 件 【平成 30 年度（4,966 件）より 595 件増加】
- ② 公立中学校
 - ・ 認知件数 1,988 件 【平成 30 年度（1,750 件）より 238 件増加】
- ③ 県立高等学校
 - ・ 認知件数 220 件 【平成 30 年度（117 件）より 103 件増加】
- ④ 県立特別支援学校
 - ・ 認知件数 28 件 【平成 30 年度（14 件）より 14 件増加】

いじめを認知した学校数（学校総数に対する割合）

公立小・中学校および県立学校のおいじめを認知した学校の割合は 96.6%

- ① 公立小学校
 - ・ 認知学校数 214 校（96.4%） 【平成 30 年度 212 校 95.5%】
- ② 公立中学校
 - ・ 認知学校数 99 校（99.0%） 【平成 30 年度 95 校 95.0%】
- ③ 県立高等学校
 - ・ 認知学校数 51 校（100.0%） 【平成 30 年度 45 校 88.2%】
- ④ 県立特別支援学校
 - ・ 認知学校数 11 校（73.3%） 【平成 30 年度 11 校 73.3%】

(3) いじめの態様〈表(6)〉

ア 小学校・中学校における多い態様

- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ②軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。

イ 高等学校における多い態様

- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ②パソコンや携帯電話で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。

ウ 特別支援学校における多い態様

- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ②ひどくぶつかられたりたたかれたり、蹴られたりする。
パソコンや携帯電話で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。

※ 県内における具体的事例

《小学校》

- ・ゲームや遊びでのトラブルからいじめの被害にあった。
- ・軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれた。
- ・SNSにあげるぞと脅された。

《中学校》

- ・些細なことからいじめ被害にあった。
- ・複数の者から冗談・遊び感覚という認識で嫌なことを言われた。
- ・SNSで生徒を中傷したり、なりすましの被害にあった。

《高等学校》

- ・所持品を隠された。
- ・SNS上で誹謗中傷を書かれた。

《特別支援学校》

- ・授業中に悪口を書いたメモをまわされた。
- ・嫌なあだ名を付けられ、からかわれた。

令和元年度 滋賀県いじめ問題サミット

実施日 令和元年8月20日(火)
参加校・生徒 98校 100名の県内中学校代表生徒

決定したいじめ防止のための『滋賀県宣言』

- いじめに対する3つの心 ～強い心、優しい心、賢い心～
- 認め助け合おう みんなの個性
- SNSつくるもつかうも同じ”人”
～あなたには画面の奥が見えますか?～



3. 公立小学校、公立中学校および県立高等学校における長期欠席の状況等

(長期欠席は理由別に「病気」「経済的理由」「不登校」「その他」の4種類)

(1) 理由別長期欠席者数および不登校児童数(小学校)

① 公立小学校における長期欠席 <表(7)(3)>

年間30日以上長期欠席者数 1,286人【平成30年度(1,175人)より111人増加】

② 長期欠席者のうち不登校児童数 734人【平成30年度(617人)より117人増加】

不登校児童の在籍率0.90%【平成30年度(0.76%)より0.14ポイント増加】

(2) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数(中学校)

① 公立中学校における長期欠席 <表(9)(10)>

年間30日以上長期欠席者数 1,886人【平成30年度(1,872人)より14人増加】

② 長期欠席者のうち不登校生徒数 1,335人【平成30年度(1,316人)より19人増加】

不登校生徒の在籍率3.43%【平成30年度(3.37%)より0.06ポイント増加】

(3) 理由別長期欠席者数および不登校生徒数(高等学校)

① 県立高等学校における長期欠席 <表(11)(12)>

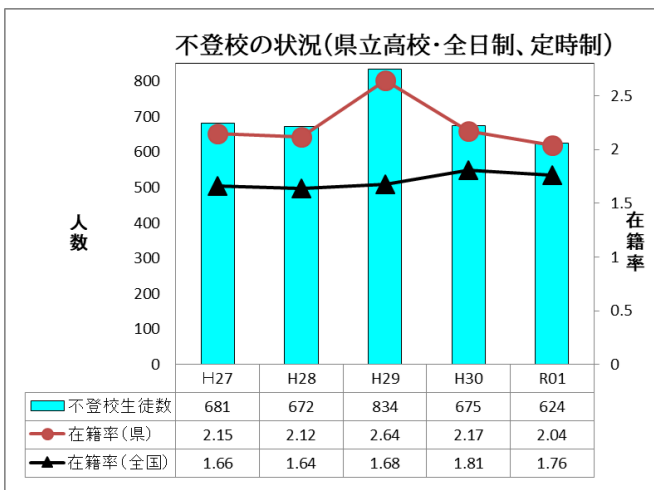
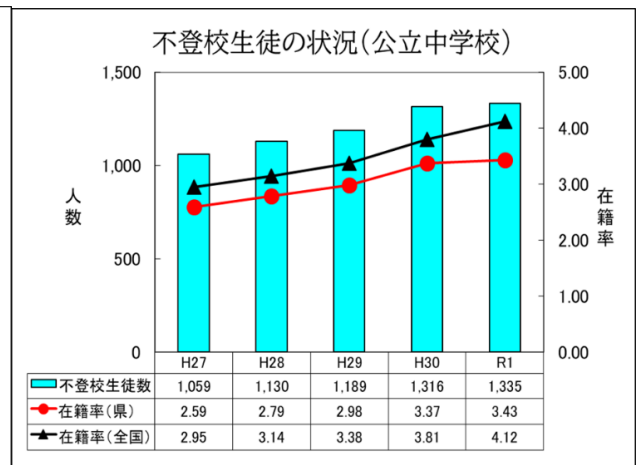
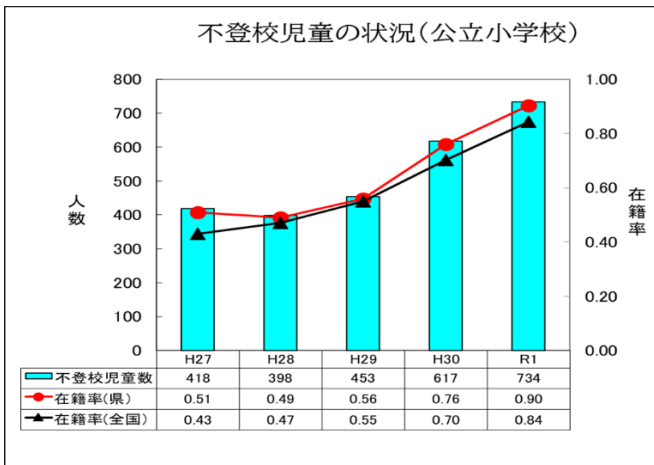
年間30日以上長期欠席者数 843人【平成30年度(895人)より52人減少】

② 長期欠席者のうち不登校生徒数 624人【平成30年度(675人)より51人減少】

不登校生徒の在籍率2.04%【平成30年度(2.17%)より0.13ポイント減少】

(全日制の不登校生徒数 444人【平成30年度(445人)より1人減少】)

(定時制の不登校生徒数 180人【平成30年度(230人)より50人減少】)



(4) 不登校の要因

ア 公立小学校における不登校の要因〈表(13)〉

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が 307 人 (41.8%)、「親子の関わり方」が 139 人 (18.9%) を占める。

イ 公立中学校における不登校の要因〈表(14)〉

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が 544 人 (40.7%)、「いじめを除く友人関係をめぐる問題」が 253 人 (19.0%) を占める。

ウ 県立高等学校（全日制）における不登校の要因〈表(15)〉

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が 166 人 (37.4%)、「学業の不振」が 60 人 (13.5%) を占める。

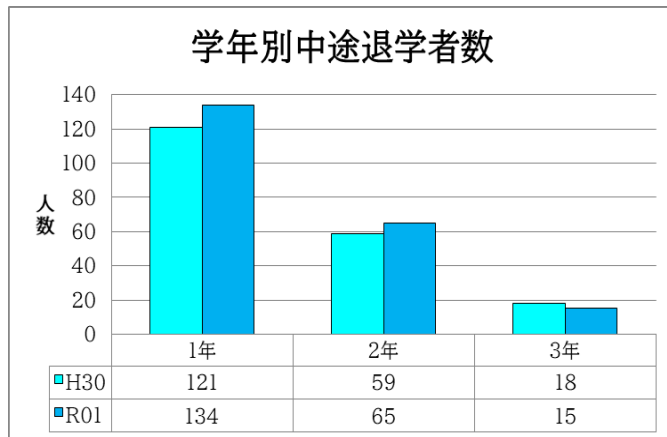
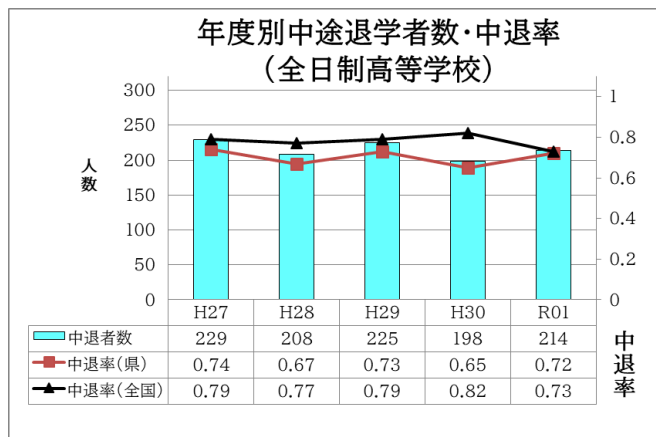
エ 県立高等学校（定時制）における不登校の要因〈表(16)〉

・不登校要因の主たるもので、「無気力、不安」が 79 人 (43.9%)、「生活リズムの乱れ、あそび、非行」が 33 人 (18.3%) を占める。

4. 県立高等学校における中途退学者数等の状況（全日制）

(1) 年度別・学年別中途退学者数・中途退学率〈表(17)〉

- ① 中途退学者数 214人 【平成30年度（198人）より16人増加】
- ② 中途退学率 0.72% 【平成30年度（0.65%）より0.07ポイント増加】
- ③ 1年生の中途退学者数 134人 【平成30年度（121人）より13人増加】
- ④ 2年生の中途退学者数 65人 【平成30年度（59人）より6人増加】
- ⑤ 3年生の中途退学者数 15人 【平成30年度（18人）より3人減少】



(2) 学科別中途退学者数・中途退学率〈表(18)〉

- ① 普通科の中途退学者数 138人 【平成30年度（143人）より5人減少】
普通科の中途退学率 0.67% 【平成30年度（0.69%）より0.02ポイント減少】
- ② 専門学科の中途退学者数 48人 【平成30年度（36人）より12人増加】
専門学科の中途退学率 0.84% 【平成30年度（0.62%）より0.22ポイント増加】
- ③ 総合学科の中途退学者数 28人 【平成30年度（19人）より9人増加】
総合学科の中途退学率 0.77% 【平成30年度（0.50%）より0.27ポイント増加】

(3) 学年別理由別中途退学者数〈表(19)〉

- ・最も多い理由「学校生活・学業不適応」
97人（45.3%） 【平成30年度（81人）より16人増加】
- ・次に多い理由「進路変更」
80人（37.4%） 【平成30年度（70人）より10人増加】